

質問回答

NO.	質問	回答
1	動物愛護管理行政関連の実績有無は必須要件ではないため、応札資格には実績有無は問われず、評価の追加点に関するのみであると理解していますが、この理解で正しいでしょうか。	貴見のとおり、動物愛護管理行政関連の実績有無は応札資格ではなく、評価の加点に関するのみです。
2	一般国民1,000人へのWebアンケートの「無作為抽出」ですが、モニターをインターネットモニターよりランダムに選ぶという方法で問題ないでしょうか。	当該「インターネットモニター」が特定の団体や特定のペット関連企業の利用者に偏るなど作為的な抽出による群でない場合は問題ありません。なお、犬猫を飼っている人が250人を下回らないことが必要です。
3	仕様書「3. 業務の内容(2)調査方法の設計、実施及びとりまとめ」における連絡先情報について 調査対象②として、地方公共団体(①の調査対象を除く市町村：1,636団体)が挙げられています。これら市町村の連絡先(担当部署名、メールアドレス等)につきまして、環境省にて把握されている情報を提供いただくことは可能でしょうか。 もし環境省側で一覧等を保有されていない場合、受注者側で1,636団体分の連絡先を個別に調査する必要があるとの認識でよいか、教えていただけますでしょうか。	都道府県、政令市、中核市を含む129自治体については連絡先を把握しております、提供可能ですが、その他の自治体については受注者側で連絡先を個別に調査する必要があります。
4	仕様書「3. 業務の内容(2)」における調査票設計について 調査対象②では、対象自治体が1,636であることから、自由回答形式を多く設定することは、集計・整理の観点から現実的ではないと考えております。そのため、原則として選択式(択一・複数選択等)を中心とした設問構成を想定しておりますが、調査票設計における想定方針がございましたら、教えていただけますでしょうか。	単純な選択式ではなく、数値等含めた自由回答形式を主に想定していますが、設問内容によっては選択式もあり得るものと考えています。
5	仕様書「3. 業務の内容(3)海外の動物愛護管理行政等の実態把握調査」における「一次文献」について 本業務では、対象国の法律・規制、公文書、政府報告書等の一次文献を確認しつつ整理を行うことを想定しておりますが、テーマごとに相当数の候補が存在する可能性があり、納期等を踏まえると網羅的に一次文献を把握することが困難になる可能性があります。 調査対象として想定している一次文献等がありますでしょうか。若しくはすでに保有されている文献等はありますでしょうか。	保有している文献はありませんので文献候補の調査からお願いすることになります。
6	仕様書「3. 業務の内容(3)」における「調査結果は翻訳者による確認を行うこと」との記載について 仕様書に「調査結果を翻訳者が確認する」とありますが、「調査結果」と記載されている点から、翻訳者は一次文献そのものではなく、一定の整理手法に基づき作成された文章(報告書案等)を確認することが想定されます。他方で、翻訳者には一般的な語学能力に加え、動物愛護管理行政に関する一定の知見が求められると考えられます。 つきましては、本業務における翻訳者の役割は、主として以下のどの段階を想定しているものか、教えていただけますでしょうか。もしくはそれ以外の場合は、詳細を教えていただけますでしょうか。 ①一次文献を翻訳した段階における、誤訳・専門用語の解釈の齟齬等のチェック ②一次文献の内容を踏まえて作成した「とりまとめ結果(報告書案等)」が、原文の趣旨と齟齬なく整理されているかを確認する	一次文献そのものを全文翻訳することを必須としませんが、調査結果に誤訳がないか確認するためには、一次文献の該当箇所に誤訳がないかどうかの確認を行うことは必要と考えています。

7	<p>仕様書「3. 業務の内容(3)」における翻訳の範囲について 上記4の質問に関連し、仮に「①一次文献を翻訳した段階での確認」 を求められる場合、当該文献の全文翻訳が前提となるのか、あるいは 関連箇所を抽出した部分の翻訳のみで支障ないかについて、教えてい ただけますでしょうか。</p>	<p>質問6の回答のとおり、全文翻訳は必須ではありません。</p>
8	<p>仕様書「3. 業務の内容(3)」におけるとりまとめの深度について 仕様書において「テーマごとに3か国的情報をA4・6頁でとりまとめ る(計60頁程度)」とされております。この仕様を踏まえますと、1か 国あたり約2頁の記述となることから、一次文献や関連文献の内容を 下記①～③すべてについて網羅的に分析することは困難と考えてお ります。</p> <p>比較分析の深度としては、下記のような整理が妥当と考えております が、想定されている調査レベルはどの程度となりますでしょうか。</p> <p>①制度構造の比較 　例：制度の枠組み等</p> <p>②運用状況を踏まえた比較 　例：制度の実施状況等</p> <p>③数値比較 　例：政策効果の検証比較等</p>	<p>仕様を踏まえて、どのようなとりまとめが御社であればできるか含 めて企画書にてご提案いただければ幸いです。</p>